

各位

上場会社名	株式会社 エイジス
代表者	代表取締役社長 齋藤 昭生
(コード番号)	4659)
問合せ先責任者	経営企画室長 福田 久也
(TEL)	043-350-0888)

## 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月27日に発表いたしました平成24年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,408	1,600	1,635	843	174.11
今回修正予想(B)	18,408	1,420	1,450	430	88.81
増減額(B-A)	0	△180	△185	△413	
増減率(%)	0.0	△11.3	△11.3	△49.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	17,526	1,638	1,693	834	172.41

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,120	1,700	888	183.40
今回修正予想(B)	16,120	1,580	540	111.53
増減額(B-A)	0	△120	△348	
増減率(%)	0.0	△7.1	△39.2	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	15,785	1,674	822	169.82

修正の理由

#### 1. 業績の修正

売上高につきましては、概ね計画通りに推移しております。

営業利益につきましては、海外棚卸サービスおよびテイルサポートサービスのカスタマーサービス・チェック事業は、販売費及び一般管理費をカバーするまでに至っておらず、通期業績予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、「2. 特別損失の計上およびその内容」に記載のとおり、平成24年3月期第4四半期連結会計期間において特別損失の計上および繰延税金資産の見直しによる取崩しにより通期業績予想を下回る見込みであります。

#### 2. 特別損失の計上およびその内容

特別損失の主な要因としては、当社システム部門におけるシステム投資額の一部費用(110百万)を特別損失として計上するものです。

当社システム部門では前年より引き続き、フィールドの生産性および品質の向上をはかるため、新たな社内システムの開発に取り組み、開発は概ね完了しておりました。しかし、今後既存システムの維持に加え新たなシステムへ移行には膨大な費用がかかることが、新たに判明いたしました。そこで、既存システムに新たなシステムの一部を組み入れるほうが、費用対効果が高いと判断するに至り、新たなシステム投資額のうち既存システムに組み入れることができない部分を除却するものであります。

以上